

2012年度 第7期アレルギー大学受講科目・日程・会場（千葉）

				千葉県(千葉市)				
	NO	講座名	タイトル	月日	講師	定員	会場	コース受講
基礎・初級	7087	医学-基礎	食物アレルギーの基本	7/29(日)AM	井上 祐三朗	50	第12	◎
	7088	食品学-基礎	栄養と食品を学ぶために	7/29(日)PM	若林 あや子	50	第12	◎
	7089	医学- I	アレルゲン別の症状と対応	8/4(土)AM	加藤 いづみ	50	第12	◎
	7090	食品学- I	アレルゲンの基本	8/4(土)PM	足立 はるよ	50	第12	◎
	7091	栄養と献立- I	栄養と献立	8/18(土)AM	林 典子	50	第12	◎
	7092	発達とアレルギー- I	赤ちゃんの口の機能の発達とアレルギー	8/18(土)PM	大久保 真衣	50	第12	◎
実習	7093	発達とアレルギー- I 実習	離乳食のすすめ方	8/25(土)PM	千葉市保育所 栄養士	36	第13予定	◎
	7094	実習- I	卵・乳に対応した給食 I	8/26(日) AM・PM	松原 若菜	36	第13予定	◎
	7095							
中級	7096	医学 II	医学の最新情報と園・学校での対応	9/8(土)AM	鈴木 修一	50	第12	◎
	7097	栄養と献立- II	集団給食の目的とすすめ方	9/8(土)PM	原 正美	50	第12	◎
	7098	発達とアレルギー- II	幼児期・学童期の食育とアレルギー	9/29(土) AM・PM	増野 弥生	50	第12	◎
	7099					50	第12	◎
	7100	アレルギー表示と医学	ひやりはっと事例から学ぶ	10/20(土)AM	下条 直樹	50	第12	◎
	実習	7101	実習 II	卵・乳・小麦その他に対応した給食	10/8(月・祝) AM・PM	原 正美	36	第13予定
7102								

午前の講座 (9:30-12:00) 受付: 9:15 開始 発達とアレルギー- I 実習 (13:30-16:00)・・・半日の調理実習 受付: 13:15 開始
 午後の講座 (13:30-16:00) 受付: 13:15 開始 実習 I・II 午前午後(10:00-16:30)・・・一日通しの調理実習 受付: 9:45 開始

〈会場のご案内〉

第12会場 千葉市民会館
 〒260-0017 千葉市中央区要町1-1
 TEL 043-224-2431

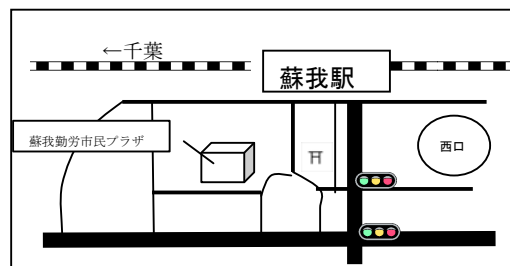
●JR千葉駅から徒歩7分

第13会場 千葉市蘇我勤労市民プラザ(予定)
 〒260-0834 中央区今井1-14-43
 TEL 043(266)5504

●JR蘇我駅から徒歩5分

駐車場について

各会場、駐車場が狭いためご来館の際は
 電車等の交通機関を利用ください。



〈注〉日程及び会場は、天候不順、会場、講師などの都合により変更する場合があります。
 必ず事前に下記ホームページにてご確認ください。

「アレルギー大学」 <http://alle-sien.net/alle-dai/html/>

主催/お問合せ先

〒453-0042 名古屋市中村区大秋町二丁目45-6

(2012年3月に移転しました)

TEL 052-485-5208 FAX 03-6893-5801

e-mail :<http://alle-sien.net/alle-dai/toi-form/form.cgi>



認定NPO法人(認定特定非営利活動法人)

アレルギー支援ネットワーク

<http://www.alle-net.com/>

千葉県会場での講師の先生方のご紹介(順不同)

下条 直樹

千葉大学大学院
医学研究院小児病態学
准教授



食物アレルギーは小さな子どもに発症することが多く、お母さんがたも適切な情報と助言が得られないことも少なくないようです。この問題解決のためには医師だけでは不十分で、栄養士さん、保母さん、保健師さん、先生方など、お子さんと関わる職種のかたに広く支援をいただく必要があります。千葉県にはまだ食物アレルギーについて詳しい栄養士さんが少ないともいわれています。皆さんの参加をお待ちしています。

鈴木 修一

国立病院機構
下志津病院
小児科・アレルギー科



最近、食物アレルギーの診療状況が徐々に変わってきています。社会での認識が高まってきてはいるものの、現場では戸惑いもあるようです。患者さんや保護者の方々との関わりの中で、アレルギーの発症予防や早期寛解、QOLの向上を目指しております。短い時間ではありますが、これからの食生活に役立つよう、食物アレルギーに関する理解を楽しく深めていただけたことを願っております。

大久保 真衣

東京歯科大学千葉病院
摂食・嚥下リハビリテーション
地域歯科診療支援科



生まれてから咀嚼が完成するまでの口の機能についてお話したいと思います。哺乳期、離乳期、離乳完成期とそれぞれの時期における口の機能が理解できていないと、その時期に合わせた食形態の提供はできません。また食べるというのは、栄養摂取という面だけではなく、舌ざわりや香りを楽しんだり、よく咬むことで味わいを楽しんだりもします。またみんなで同じ食卓を囲む楽しさもあります。口の機能を高めながら、楽しい食事時間を過ごせる事を願っております。

松原 若菜

独立行政法人
国立病院機構
下志津病院

私は病院栄養士として、アレルギー患者さんに対する栄養相談、入院患者さんへの栄養管理や献立作成を行っています。乳幼児期の食物アレルギーの主な原因食品は、鶏卵、牛乳、小麦です。今回の調理実習がそれらを使用しなくても美味しく調理する方法や、代替食品の使い方の確認をしていただける機会になればと思っています。

若林 あや子

日本医科大学
微生物学
免疫学教室 助教



食物アレルギーの誘導や発症には、からだの様々な細胞が関与していると考えられています。アレルギー大学では、我々が食べている食べ物について、またその食べ物の成分がどのようにからだの中に入るか、そして食べ物からからだの中に入った後に起こること、などについて、現在考えられている知見に基づき、わかりやすく説明します。食物アレルギーとは何か、どのようなことがからだの中で起こっているのか理解を深め、その対策や対応について、受講者の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

足立 はるよ

東京大学大学院
農学生命科学研究科
特任研究員



現在食物アレルギーの発症機構解明に向け、基礎研究に動いています。ウン年前栄養学を学ぶ学生として『自分は食物アレルギーの子どもの母親だったら、子どもに何を食べさせるのか』という疑問を出発点に、食物アレルギーの発症機構を明らかにし、子ども達に豊かな食生活を保障しよう、というのが私の基礎研究開始の動機です。現在通信教育で、小児栄養の非常勤講師もしながら、自分の子育てでも小児にとって食生活の重要性を意識する日々です。

井上 祐三朗

千葉大学医学部附属病院
小児科 助教



食物アレルギーは代表的な小児期のアレルギー疾患です。正確な診断をつけ、必要最低限の食物アレルギー回避を行なうことが必要ですが、そのためには医療関係者や保護者だけでなく、お子さんを取りまく様々な職種の方が、食物アレルギーの正しい知識を持つことが大事だと思います。できるだけ分かりやすくお話したいと思えます。

加藤 いづみ

千葉県こども病院
アレルギー・膠原病科



頻度の差こそあれ、食物アレルギーの原因食物は様々です。どういった食物でどのような症状が出やすく、どのように対応していくべきなのか、できるだけ詳しく、そして分かりやすくお話させて頂きたいと思えます。

原 正美

昭和女子大学 生活科学部
管理栄養学科 准教授



食物アレルギーのお食事作りで日々ご苦労されている給食関係者や保護者の方のお役に立つ、具体的な情報提供を心がけております。離乳食、幼児食、学校給食、病院給食など様々な場面、施設での栄養バランス、献立作成やレシピ提案、食物アレルギーを含む大量調理用加工食品、調理方法等の講義や実習を通して、食物アレルギー児の食生活を一緒に考え直してみましょ。まずは実践あるのみです。

林 典子

国立病院機構相模原病院
臨床研究センター
アレルギー性疾患研究部



食物アレルギーの患者さんの食のQOL(Quality of life)の低下や精神的な負担を減らすためには、必要最小限の原因食物を除去することが大切です。しかし食物除去の考え方に関する誤解や症状出現に対する不安などが原因で、食物除去を拡大してしまい困っている患者さんも少なくありません。患者さんが摂取できる食物の幅を必要以上に狭めず、また解除するときにもスムーズに解除していき、食生活の中で抱えている不安を軽減し、食生活を楽しんでいただけるようにという思いで患者さんに接しております。

増野 弥生

戸板女子短期大学
食物栄養科
准教授



食物アレルギーは乳幼児に多く見られる代表的なアレルギー疾患のひとつです。近年、食物アレルギーを持つ園児が増え、給食担当者のみならず、保育関係者からも、現場での不安や戸惑いを訴えることも多いようです。食物アレルギー児への給食では、保護者への支援も求められており、保育園栄養士のみならず、保育者にもアレルギー対応の専門知識が必要とされ、保護者・保育園職員・医療関係者との連携、保護者へのより具体的な保育支援が望まれています。受講者の皆様に、少しでもお役に立つことが出来るように願っております。

協力団体(千葉県・順不同)

- ◎サークル“どんぐり”
- ◎船橋二和病院ぽぷらの会
- ◎千葉食物アレルギー親と子の会
- ◎アレルギーっ子ママ ひまわり

後援

(申請中)

文部科学省、厚生労働省、(社)日本アレルギー学会、千葉県、千葉県教育委員会、千葉市、千葉市教育委員会、市川市、市川市教育委員会、船橋市、船橋市教育委員会、(社)千葉県栄養士会、(社)千葉県調理師会